

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●松岡正海騎手がJRA通算800勝を達成

9月2日(日)の2回札幌6日・第11レースとして行われた丹頂Sではリッジマンが1着となり、同馬に騎乗した松岡正海騎手(美浦・フリー)は、史上50人目、現役では25人目となるJRA通算800勝(1万615戦目)を達成しました。

●各地で夏季リーディングジョッキーが決定

9月2日(日)をもって今年の夏競馬が終了しました。札幌では1回札幌・2回札幌で計31勝をあげたジョアン・モレイラ騎手(ブラジル)が自身初となる札幌競馬リーディングジョッキーを獲得。また2回新潟で12勝・2着8回の成績を残した石橋脩騎手(美浦・フリー)が12勝・2着6回のミルコ・デムーロ騎手を抑えて自身初となる夏の新潟リーディングジョッキーに輝き、2回小倉で19勝をあげた北村友一騎手(栗東・フリー)も初めて夏の小倉リーディングジョッキーとなりました。

●サマー2000シリーズのチャンピオンはメドウラーク

9月2日(日)の新潟記念(GⅢ)をもって今年のサマー2000シリーズ全5レースが終了し、第1戦・七夕賞(GⅢ)が1着、第3戦・小倉記念(GⅢ)が11着、第5戦・新潟記念が5着で計13ポイントを獲得したメドウラーク(牡7歳/栗東・橋田満厩舎)がチャンピオンに輝きました。

●ディーブインパクト産駒が史上最速で通算1700勝を達成

9月1日(土)の2回小倉11日・第7レースではレッドエクシードが1着となり、ディーブインパクト産駒のJRA通算勝利数が1700勝となりました。これは史上5頭目の記録で、産駒初出走の日から8年2か月13日での1700勝達成は、サンデーサイレンス産駒の9年4か月15日を上回る史上最速での達成となります。

●ステイゴールド産駒がJRA通算1000勝を達成

9月2日(日)の2回札幌6日・第12レースとして行われた釧路湿原特別ではフォーハンドレッドが1着となり、ステイゴールド産駒がJRA通算1000勝目をあげました。これは史上20頭目の記録となります。

●ジョッキーベイビーズの九州地区代表が決定

8月26日(日)、宮崎育成牧場で開催された「馬に親しむ日」において全国ポニー競馬選手権「第10回ジョッキーベイビーズ」の九州地区代表決定戦が実施され、吉永梨乃さん(小学5年生・川辺馬事公苑)が地区代表に選出されました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●北海道のナイママが札幌2歳S(札幌)で2着に惜敗

札幌2歳S(GⅢ、9月1日、札幌)にコスモス賞1着で出走資格を得て参戦、4番人気に推されたナイママ(北海道)は、中団から差を詰めて3、4コーナー中間で先頭に立ち、直線半ばでニシノデイズに交わされたものの、クビ差の2着に食い下がりました。今後は、川崎に移籍してJRA挑戦を続ける予定です。

●アークヴィグラスが牝馬限定重賞2連勝【各地の主要2歳重賞】

リリーC(8月30日、門別、1200m、牝馬)は、3~4番手を進んだ4番人気のアークヴィグラス(父サウスヴィグラス)がゴール前で内から差し切り、フルールCに続く重賞2連勝を達成。ピギナーズC(9月2日、水沢、1400m)は、5番手前後から追い上げて4コーナーで先頭に立った5番人気のグレートアラカー(牡、父タイムパラドックス)がそのまま押し切り、デビュー2戦目での初勝利が重賞制覇となりました。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1ウッドワードS~ヨシダが日本産馬初の海外ダートG1勝ち

9月1日に米ニューヨーク州のサラトガ競馬場で行われたG1ウッドワードS(3歳上、ダート9^f)を日本産のハーツクライ産駒ヨシダ(牡4歳、W.モット厩舎)が優勝。日本産馬として初めて海外のダートG1を制す快挙を成し遂げました。単勝7.2倍の3番人気に推されたヨシダはJ.ロザリオ騎手を背に道中は中団の内ラチ沿いを追走。3コーナー過ぎで外に持ち出されて進出を開始すると、直線で先行馬を鮮やかに差し切りました。2馬身差の2着にはG2ファウンテンオブユースSを含む重賞3勝馬で、G1ペガサスワールドC3着のガンナヴェラ(1番人気)が入りました。ヨシダは米国のダートG1バレイリーナSを制したヒルダズパッションの産駒。2014年2月に安平町のノーザンファームで誕生し、翌年のJRHAセレクトセールにおいて9400万円(税別)で落札されて米国へ輸出。今年5月にはG1ターフクラシックS(芝9^f)を制すなど芝路線のトップホースとして活躍していましたが、今回初めてダートのレースに挑戦。いきなりG1勝ちを果たしました。